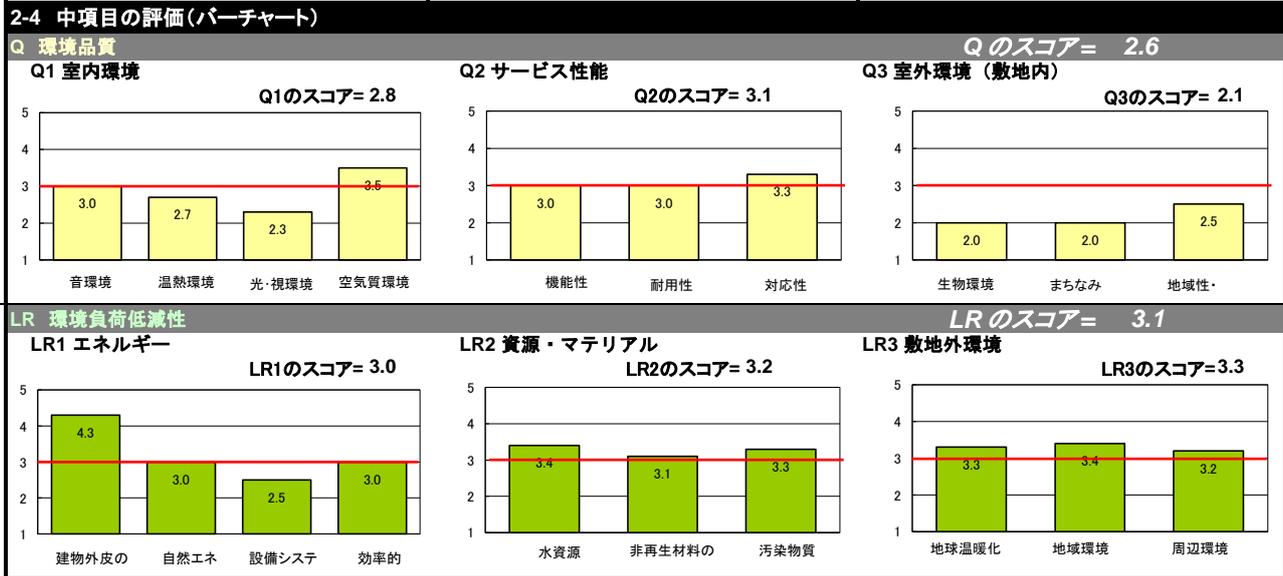
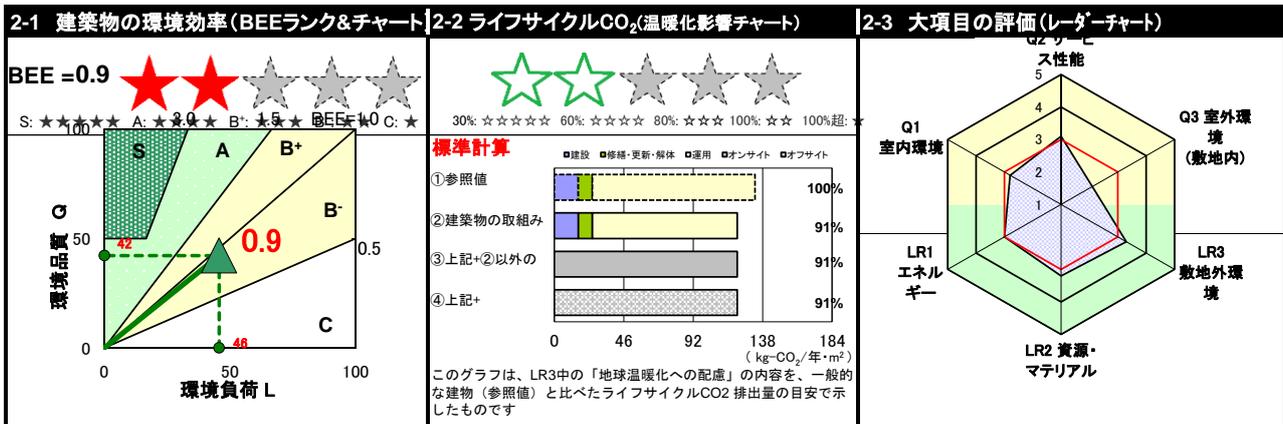


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神奈川県相模原市南区大野台1丁目1098-1他	階数	地上2F
建設地	相模原市南区大野台1丁目1098-1他	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2021年2月25日
敷地面積	1,565㎡	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	1,083㎡	確認日	2021年3月4日
延床面積	2,254㎡	確認者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 JR横浜線淵野辺駅よりバスで10分ほどの準工業地域に、事務所・物販及び工場の複合用途の建物を周囲の街並みに調和を図りつつ計画した。		その他 特になし
Q1 室内環境 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	Q2 サービス性能 事務室天井高を2.7m以上、内壁・床面に防汚性の高い建材を使用	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー BPlm=0.87	LR2 資源・マテリアル 自動水栓及び節水型便器の採用、リサイクル材の使用	LR3 敷地外環境 ガス燃焼機器を使用しない、光害及び広告物照明チェックリストの過半を満たす

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される